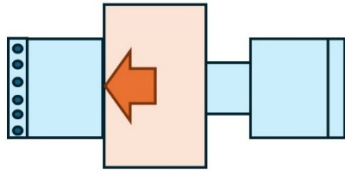
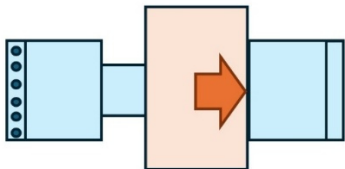


◆ホイールが左の位置



↑↓ (縦スクロール)

◆ホイールが右の位置



↔ (横スクロール)

- ファームウェアによって様々な利用シーンに適用可能ですが、まずは説明をわかり易くするために表計算ソフトを利用している状況を一例として説明します。

- ①表計算ソフトで縦横に広い表を見ているとします。
- ②そのままホイールを回すと縦方向にスクロールし、
- ③次にホイールを横にスライドして
- ④再びホイールを回すと横方向にスクロールします。

※ホイール位置とスクロール方向は設定変更可能

- また、ホイールとボタンを併用することで例えば、機器の設定アプリなどで、ホイールで項目を選択し、更にいずれかのボタンを押しながらホイールを回転することで設定値を増減させることも可能でしょう。
- マウス使用時にクリック操作を頻繁に行わないケース例えば、 Web、文献、PDFファイルの閲覧などには大変有効です。

- 新しい「ゲーム用デバイス」としても利用可能でしょう。
- 横スクロールについてはパソコン・スマートフォン・タブレット端末などで動作するアプリケーションに依存しますが、

『縦書きの文章を縦書きのまま横にスクロールする』

ことも可能です。

電子書籍やPDFファイルの縦書き文章は『面』『ページ』ごとに切り替わりページを前後しますが、スクローラーでは縦スクロールが一行から数行ごとにスクロールするのと同じように、横スクロールでは一列から数列ごとにスクロールすることが可能になります。 ですので、縦書きの文章が、右から左、左から右へスクロールすると今までとは違った雰囲気味わえるでしょう。

- また、「進む」「戻る」ボタン等で改ページするデバイスと違ってホイールの回し加減による直感的な操作が可能です。
- スクローラーを手持ちして使うときは使う場所を選びません。立ち姿勢のままでも操作が完了するケースもあるでしょう。